



不法投棄廃棄物を回収する協会のメンバー

許すな！ごみの不法投棄

町内の不法投棄廃棄物撤去作業が行われました

町内3か所(県総合射撃場付近1か所、益城斎場付近2か所)で2月23日、県産業資源循環協会と地元住民による不法投棄廃棄物の撤去作業が行われました。

これは、県産業資源循環協会により上益城保健所管内で毎年実施されているもので、今回は同協会の宇城支部のほか、下鶴、南の区長も参加し、2班で撤去作業を行いました。中には、家電なども捨てられており、不法投棄されていたごみは、およそ2ト。参加者たちは大掛かりな作業を強いられました。

長年の地域づくりに総務大臣奨励賞

吉村静代さんがふるさとづくり大賞で受賞

東京都の都市センターホテルで2月3日、平成29年度ふるさとづくり大賞の表彰式が開催され、吉村静代さん(寺迫)が総務大臣奨励賞を受賞しました。

この賞は、地域をより良くしようと頑張る団体、個人を表彰するもので、吉村さんの長年の地域づくり活動と、震災時の避難所での自主的な活動が評価されました。

吉村さんは、「仲間との活動が評価され、嬉しいです。まだまだ頑張れという意味だと思う」と話しました。



総務大臣からの表彰状を掲げる吉村さん



大の日本通で、日本の精神について語る戎氏

受け継がれる“ジップンチェンシン”

「志賀哲太郎先生顕彰のつどい」が開催されました

町文化会館で2月25日、台湾からの訪問団を迎え、「志賀哲太郎先生顕彰のつどい」が開催されました。

これは、志賀哲太郎先生顕彰会(宮本陸士会長)の長年の活動が実り実現したもので、台湾からも王澤佳大甲区副区長をはじめとする多くの関係者が参加しました。

講演を行った台湾の戎義俊総領事は、「台湾の人が日本を好きなのは、日本精神(ジップンチェンシン)が受け継がれているからであり、それを体現した志賀先生は住民や弟子から慕われていました」と力強く話しました。

Pickup Plus
今月のプラス+

「志賀哲太郎先生顕彰のつどい」では、先の台湾東部地震被害に対する災害義援金の募金も行われ、総額154,448円が集まりました。これに、町職員に対して募った義援金と合わせた327,036円を、熊本県国際協会を通じて台湾に送付しました。